

Japanese Unexamined Patent Publication No. SHO 59-23430

Publication Date: : February 6, 1984
Application No. : SHO 57-132015
Filing Date : July 30, 1982
Inventor : Mitsunori MATSUMOTO
Name of Invention : FUSE AND FUSE BOX
Applicant : Yugen Kaisha Kasahara Denki Seisakusho

Page 152, Lower Left Column, lines 18-20 in Japanese Text:

By punching an alloy plate suitable for forming a fuse, a base plate (1) of a rectangular shape and a plurality of fuse elements (2) in a comb-like shape are formed integrally.

Page 152, Lower Right Column, lines 7-11 in Japanese Text:

The box member (B) for accommodating the fuse (A) is such that partition sections (5) for holding the six fuse elements (2) of the rectangular base plate (1) are provided inside the box member (B) and that a terminal bracket (7) equipped with a pin (6) is attached to a bottom plate of the box member at a position in agreement with fuse mounting holes (1') and (2').

Page 152, Lower Right Column, lines 15-20 to Page 153, Upper Left Column, lines 1-4 in Japanese Text:

A cover member (C) which covers the box member (B) to render the fuse (A) in pressing contact with the terminal bracket (7) is provided with a projecting member (9) formed with a pin holding hole (8) at a position in agreement with the pin (6) of each terminal (7). Mounting and fastening the cover member (C) onto the box member (B) by fastening means such as a fastening screw secures a construction in which the fuse (A) is rendered in pressing contact with the terminal bracket (7) by the projecting member.

An insertion blade (10) and an insertion blade (11) are respectively mounted on the side of the based plate (1) and on the side of the fuse elements on the backside of the box member in a communicable state with each terminal (7).

⑫ 公開特許公報(A) 昭59-23430

501n1. Cl.
H 01 H 85/22

識別記号

片内整理番号
6658-5C

③公開 昭和59年(1984)2月6日

発明の数 2
審査請求 有

(全・6頁)

④ヒューズ及びヒューズボックス

⑦出願人 松本光規

東京都大田区下丸子3丁目27番

出 庫 証 5557(1982) 7 月 30 日

②出願人 有限会社笠原電機製作所

④發明者 松本光規

東京都世田谷区池尻3丁目3番

東京都大田区下丸子3丁目27番
6.号

⑮代理人 弁理士 神保勉

外1名

● 日 刊

- [illegible]

今更により固定した構造として、開口金を圓筒帽子の
ノリツクに支持したり、又は其にエーヌの場合
には一ノ取付部を圓筒帽子に接続してネジ止のす
る位置があり、又つて圓筒が多数にわたり、しか
う電流線の通過する特殊な圓筒の場合にはエー
ヌの取付部が密着して固定であり、又電流線の端
を支持し、固定するふたれがあり、且た予備と
を引出し、製造に適宜したたけはならない不変
である、特に予備のエーヌのない場合には長
方形の蓋をしたたけはならない不変を要する、其處
所法の電流線又は電線束等の場合にはエーヌの
たてよりエーヌを交換する場合には電流の閉鎖
を必要とするために其等の所法上蓋のて不都合を
もつた。

この發明は上記の如く電流のエーヌの欠点を
排除し、エーヌが一貫製造をいたしました有様な
發明である。

すなわち、蓋板に電線のエーヌをノリツクを
付けたて電線し、蓋板及びエーヌをノリツク
の端部には突々取付部を設けたものであるから

製作に於たりは、数種のエーペーの同時加工がてゐる
 形ありあり、又、製作に際してもエーペーの
 プリのはきと表紙に密着して電子の位置をリチ
 ュウに配列することにより、種々の回路を防止
 せしめる形ありあり、又、各エーペーの
 位置を必要に因順に合致して製作せし、該配
 置を防止する形ありあり、更に又、手数のエー
 ペーを、使用したエーペーに密着した場合に於
 ても、使用したエーペーに交錯して使用し、エーペー
 間隔より生ずる位置の相違を可及的に排除しう
 る形ありありとある。

[illegible]

同時に蓋版(1)の中央より片側に傾位した位置に付孔(1')を、又、各ヒューズエレクトロンの端にも付孔(2')を採取する。

所産電産値に合致する前年ゾーン①は、各エ
ースエーノゾ②の中央部分に両側に次々④と
して構成する。

上記エーヌ(A)を収容するモノブラスは、炭酸の蒸気(B)のものをエーヌエシノット(C)と収容する区画(D)が炭酸(日)が熱に受けた、炭酸にエーヌ取付孔(A')及び(2)に付設する位置に(日)附を細子金具(E)が取付けられる。

この関係 (2) にはモース (A) が来々取付れ
(1') 及び (2') を合致する点 (B) に照準して区別
内に収容されるものである。

$e = a^{-1} \cdot (A)$ を親子金具 (I) に接続するもの、
 係 (B) に接続される関係 (C) には各親子 (I) の C
 (I) に接続する位置に C へ接続穴を開き接続したの
 ちめ取された、係 (O) を係 (A) に接続し、
 互手取、割入は止まりに止まりし穴開、穴取
 2) $e = a^{-1} \cdot (A)$ を親子金具 (I) に接続する関係

CORNERSTONE社が作るエーサー(E)は、
J系を採用し、強力なJ系手錠としてム(10)
であるから、J系のエーセルノットの種子
に四角形の手錠をコンパント(H)の「種天」種
で開ける刃口を開くものであるが、しかも強
度と強度にするためのJ型コンパント(B)を備
えて一括して製造可能だし、エーサー所生
品、子種のエーサー製の種子食品の造る刃口に
刃先鋭利な刃先を持つ新産としてLm。

基礎的コンパニオンは、通常子食人の増加に
対応している。
上記の基礎値によるエーデルワイスの量は
倍々、例え、10A、11A、10Aの3通りとした場
合、10Aとエーデルワイスは同一量で
10A、11A、10Aとして子食人エーデルワイスとする。
エーデルワイスの基礎値に比例した場合、

エリソンは、この説を基礎に切斷して、又近代史料による。従つて、エー・エ・エ・エの親子間の説は、月曜の夜は一種上では（交互に出入した）が、
 秋に足付される。
 この説の所にあるには、眞實親子の命の死と上と下は、親子に關するもので、エー・エ・エ・エを小説に下す、及ばぬ親子間の關係を防止するものがある。

この東條氏は藩閥を所屬なし、これ故に所屬に依拠せず、その政治的行動は藩閥に拘束されず、自由にして解脫する。エマースノンの説は東條君の個性にもよるが、この東條氏では、尤もである。

東京四〇中心及び各ニエーエスノリロ
 国には夫、取付孔 (No.) 及び (Cu.) の取扱は、各
 ニエーエスノリ (2) 又は片を一面として
 片の同一、又は異なる面は取付孔の方向を
 ノーエスノリ中心に照準して取り付ける。

コンクリート(1)を固くしなれて予備のセーヌの
 流路内に流るゝものであり、従つて、セーヌの
 市街に入り巨額の被害を招き得るに堪へてゐる
 (1)である。又、東方部の高層(1)に建設してある
 新市凡(1)は高層(1)の中より大層に高層して保
 護し、これに保護せらるるコンクリート(1)を改修さ
 れるものであるから、セーヌを交換する機会、
 セーヌを逆にセーヌ・ヌーヴに改修しても無
 け凡(1)とコンクリートの位置が一転しなれたセー
 ンスを改修する真なる国際に保護する効果と防止
 となるものである。

[illegible]
$$x - a = \varepsilon \quad x \in K \quad \varepsilon > 0$$
[illegible]

ソフトバンクはかつて電話(1)の定額料に課せられ、定額料を中心とした四割は電子金貨が、文、定額料以外の定額料には各ユーザーソフトの受付札(2)に合致する位置に電子四割と電子金貨が示され、残行かれた、ユーザー(4)の定額料の中心受付札(3)と各ユーザーソフトの受付札(2)が、ユーザーに課税して課金(5)内に収容される。

[illegible]

フンセンノ(K)ハ公債用紙ナレ、但チ公債票トシテモ
モエ、又、公債一紙ナシテ而シテ數紙シテモ
ナシ。

上記は、元のヒューマンノット中、 α を第一組とし、次の各重復値のヒュームに配列し、使用中一組のヒュームのうち、 n 組を抽出し、他の j を消滅させていくが、第一組のコマンドを排し、全体を排してヒュームを区別より得かして、 10^6 回以上、次の α —組のヒュームを抽出し、更に全体を区別し、 β をヒュームと交換し、更に全体を区別し、 γ をヒュームと交換し、 δ をヒュームと交換する。又つづいて、この重復値については、 ϵ をヒュームと交換し、次に ζ をヒュームと交換し、つづいて、 η であるために、比較的簡単に以下も進め進むに及び、問題においてヒュームの順序が既知し、同じ場合でも、 θ ヒュームが多いのでヒュームの交換が簡単に迅速に行われるので、非同期型としての処理ができる利点がある。

前、上屈角は 360° の円周に等しい
前、上屈角は 360° の円周に等しい

ント、(1)…飯付孔、(2)…飯付孔、(3)…磨断
ゾーン、(4)…切欠、(5)…区割、(6)…ピン、
(7)…障子金具、(8)…保門式、(9)…炭火、
(10)…風呂刀、(11)…コンセントである。

(外/名)

三、

(51/28)



の半円にヒューズを引合して漏れ状況を確認することゝ可能である。

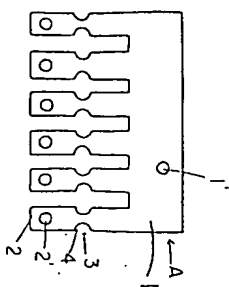
同、上記を原則に採用せらるゝと一々には感
化防止のために適宜な措置を講ずるのである。
又、電位値も電子を測知するか、又は色変化より
を分けておくのである。

九龍の西園寺

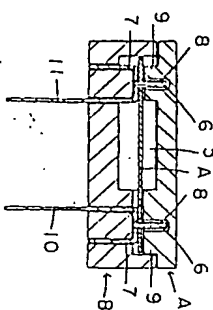
[illegible]

例、田中符号 (A) …… ε μ - χ 、(B) …… ε μ - χ 図様、
(C) …… ε μ 、(2) …… ε μ - χ ε μ 、

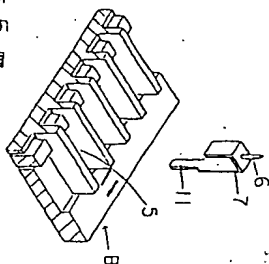
第 2 圖



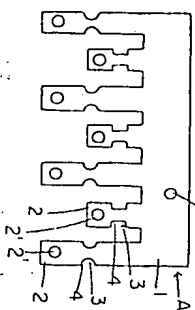
第 3 圖



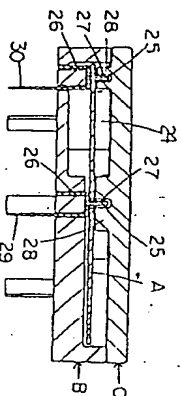
第 4 圖



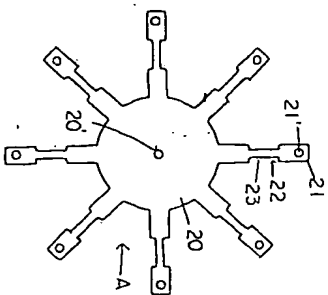
第 5 圖



第 7 圖



第 6 圖



第 8 圖

